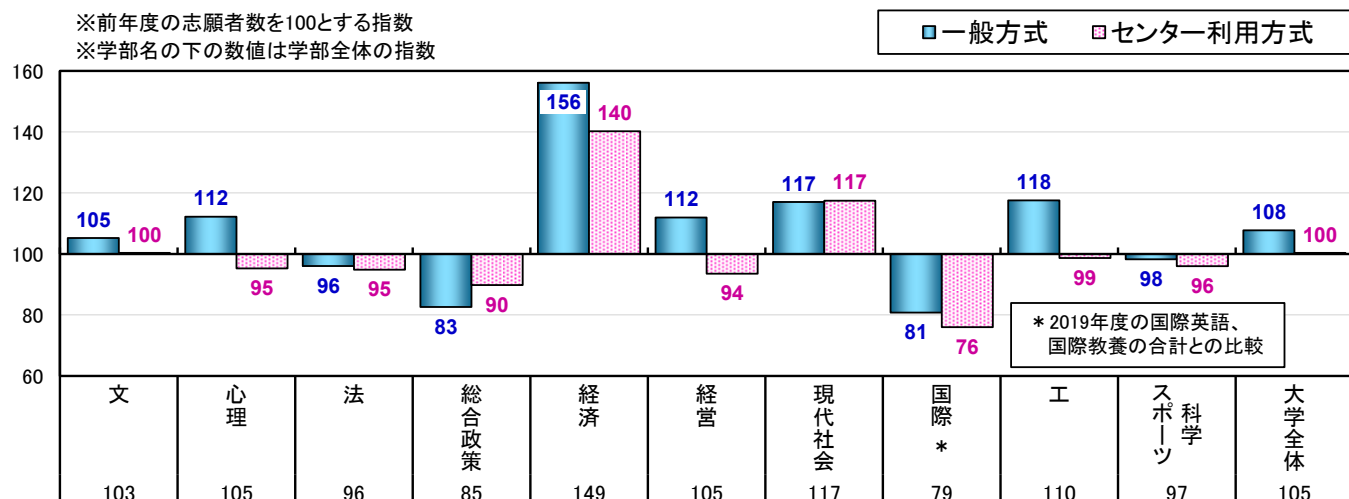


2020 年度入試状況分析【私立大】

中京大：文、心理、工は4年連続増加

一般：+1,685人 センター：+46人



入試変更点 学部改組：国際英語、国際教養→国際
 選抜方法：〈前期M2教科〉…自由選択の試験日を3日間から2日間に
 〈後期〉…1日のみの試験日を自由選択の2日間に

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1,731人(105)のやや増加で2年ぶりに増加。細かい方式別では、試験日を1日のみから自由選択の2日間にした一般方式の〈後期〉(143)が大幅増加。既存の学部別では、経済(149)、現代社会(117)が大幅増加。一方で、総合政策(85)は大幅減少。また、文(103)、心理(105)、工(110)はいずれも4年連続増加。国際英語、国際教養から改組新設の国際(79)は、前年度の国際系2学部合計との比較では大幅減少。ただし、募集人員が187人→158人と15%以上減少のため、志願倍率は18.9倍→17.6倍と1.3ポイントダウンに留まり、大幅な競争緩和にはつながらなかった。

〈一般方式〉

- 文(105)は、やや増加で2年ぶりに増加。学科別では、(歴史文化)(112)の増加が目立った。
- 心理(112)は、2年ぶりに増加。
- 法(96)は、やや減少で3年連続減少。
- 総合政策(83)は、大幅減少で3年ぶりに減少し、志願者数は3年ぶりに2,000人を下回った。
- 経済(156)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加となり、志願者数は8年ぶりに経営を上回った。
- 経営(112)は、前年度大幅減少の反動で増加。
- 現代社会(117)は、大幅増加で2年ぶりに増加。4専攻全てが増加し、特に(現代社会/社会福祉)(167)、(現代社会/国際文化)(123)は大幅増加。
- 国際英語、国際教養から改組の国際(81)は、前年度の国際系2学部合計との比較では大幅減少。ただし、募集人員は112人→87人と22%以上減少のため、志願倍率は19.8倍→20.5倍とアップ。
- 工(118)は、系統への人気上昇で大幅増加し、4年連続増加となり、志願者数は2016年度から倍増。学科別では、(メディア工)(78)は3年連続大幅増加の反動で大幅減少したが、他の3学科は増加。特に(電気電子工)(179)は激増。
- スポーツ科学(98)は微減だが、7年連続減少。学科別では、(競技スポーツ科学)(110)のみ増加。

〈センター利用方式〉

- 心理(95)は、やや減少で7年ぶりに減少。
- 法(95)は、やや減少で2年ぶりに減少。
- 総合政策(90)は、3年ぶりに減少。
- 経済(140)は、大幅増加で3年ぶりに増加。
- 経営(94)は、やや減少で4年ぶりに減少。
- 現代社会(117)は、大幅増加で2年ぶりに増加。専攻別では、(現代社会/コミュニティ)(99)のみ減少。(現代社会/社会福祉)(241)は前年度大幅減少の反動で激増。
- 国際英語、国際教養から改組の国際(76)は、前年度の国際系2学部合計との比較では大幅減少。
- 工(99)は、微減だが4年ぶりに減少。学科別では、(電気電子工)(141)の大幅増加、(メディア工)(66)の大幅減少が目立った。
- スポーツ科学(96)は、やや減少で3年連続減少。